

トップメッセージ

事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献します。



代表取締役社長

相良 暁

当社は、1717年（享保2年）の創業以来、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、業業一筋に邁進してきました。真に患者さんのためになる医薬品を開発して社会に貢献するために、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの治療満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し続けています。

患者さんの生命や生活の質を左右する医薬品という重要な製品をお届けする事業者として、常に誠実な姿勢で社会と向き合うとともに、法令遵守はもとより、高い倫理観に基づき行動するべく、全社的にコンプライアンス体制の継続的な強化に努めています。

「グローバル スペシャリティ ファーマ」の実現に向けて当社が持続的に成長していくためには、革新的な医薬品の創製はもちろんのこと、環境、社会、企業統治の取り組みを継続的に強化していく必要があると考えています。当社は、小野薬品行動規範をCSR経営の基本に掲げ、マテリアリティ（CSR重要課題）を活動の軸としています。マテリアリティのPDCAを確実に回し、各ステークホルダーの皆さまが期待する環境、社会、企業統治を含むCSR活動を推進することで、当社と社会の持続的な発展を実現できると考えています。さらには2030年をゴールとするSustainable Development Goals (SDGs)の達成に貢献することを約束します。